

SFC全体が「日本研究」の空間

SFC は、メディア、ガバナンス、デザイン、テクノロジーを連関させつつ、多様で複雑な社会の問題解決をはかるため、1990 年に開設されました。既存の学問分野を再編し、実践を通して 21 世紀の実学を作り上げること、これが SFC の目標です。そして、時代の変化に即応した教育研究の場を創造し、フロントランナーとして先端研究をリードしてきました。とりわけ日本で最初に創設された総合政策学部は「実践知の学問」を標榜し、研究成果を SFC および慶應義塾発の政策形成のための提言につなげ、世界に向けて発信しています。

総合政策学部では、SFC 研究所日本研究プラットフォーム・ラボが核となって、2011 年度から 3 年間、文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業「新しい『日本研究』の理論と実践」に取り組むことになりました。このプロジェクトでは、具体的なテーマとして日本社会にとって喫緊の課題であり、国際社会も共有している次の 3 つの問題群を選び、世界の日本研究者との議論を通じて、グローバルネットワークを構築していくという態勢をとっています。

第 1 問題群：社会の少子高齢化によって生起する諸問題

第 2 問題群：情報社会の進展にともなって生起する諸問題

第 3 問題群：東アジアの国際関係をめぐる諸問題



グローバルネットワーク構築

日本研究プラットフォーム・ラボを通じて形成される世界各国・地域の研究・文化交流機関との共同研究ネットワークは、日本発の問題解決の発信の場となり、学生の国際的なコミュニティへの参加や留学生および海外研究者の受け入れを促すことになるでしょう。

SFC では、このプロジェクトをキャンパスの国際化戦略の柱のひとつとして位置づけています。SFC の「日本研究」による研究成果が近い将来、教育プログラムに還元されることで、未来の「日本研究」のエキスパートを育成し、若手研究者が交流する孵化基地として、SFC が国際的な研究教育の交流拠点となるための大きな推進力となることが期待されています。



<http://jsp.sfc.keio.ac.jp/>

SFC-JSP

慶應義塾大学SFC研究所 日本研究プラットフォーム・ラボ

Keio Research Institute at SFC
Japan Studies Platform Laboratory

Japan Studies Platform Laboratory

お問い合わせ

慶應義塾大学 SFC 研究所日本研究プラットフォーム・ラボ
〒252-0882 神奈川県藤沢市遠藤 5322 jsp@sfc.keio.ac.jp



about Japan, with Japan, in Japan

慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス（SFC）は開設以来一貫して、地球社会が現在、あるいは近い将来に直面する社会的課題の解決を目的とした実践的な研究や教育に取り組んできました。その輪を世界に開いていくのが、私たちの新しい「日本研究」です。

核となっている SFC 研究所日本研究プラットフォーム・ラボでは、こうした研究を「日本についての研究（about Japan）」、これらの社会的課題に関心を持つ海外の研究機関との共同研究を「日本との研究（with Japan）」、また日本という場で研究することを「日本で研究（in Japan）」とし、これら三つの総体を、SFC が発信する新しい「日本研究」と位置づけています。

いま日本社会が直面している社会的課題は国際社会が共有する課題でもあります。その解決に向けた政策形成の取り組みは、研究パートナーにとっても、また研究フィールドとしても魅力的な研究テーマでありましょう。SFC 研究所日本研究プラットフォーム・ラボは、実践知のエキスパートである SFC のファカルティメンバーが有する国際的かつ学際的な研究ネットワークの下、探求すべき社会的課題への実践研究を深め、SFC および慶應義塾発の提言につなげます。

このような活動を、SFC が世界の大学や研究機関と連携して進めることで、SFC 研究所日本研究プラットフォーム・ラボが日本研究および東アジア研究のハブとなることを目指しています。

新しい「日本研究」の理論と実践 ～慶應義塾大学 SFC 研究所日本研究プラットフォーム・ラボ

文部科学省 平成 23 年度私立大学戦略的研究基盤形成支援事業

